

(一般市民向け) 学習会へのお誘い

SDGs 達成に向けた資金をどう確保するのか ～国際連帯税の可能性～

吉本やキティーちゃんの紹介ビデオ、G20 大阪や万博などもあり、認知が広がるSDGs。日本を含む世界で、貧困をなくし、地球環境をまもり、つづく社会を次世代に…という野心的な世界目標です。しかし、そのために必要な資金はいったいどのくらいになるのか？その資金はどこから来るのか？ もう少しSDGsについて詳しくなっておきたい方のための学習会で、専門家がわかりやすく解説します。

【日時】 2019年3月2日(土) 14:00～16:15

【場所】 肥後橋 官報ビル8F

(大阪市西区江戸堀 1-2-14 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅 1-B出口 徒歩1分)

【対象】 大学生、NGOスタッフ・ボランティア、関心ある一般市民など

【主催】 国際開発学会 社会連携委員会

【共催】 関西NGO協議会

【後援】 JICA 関西

【協力】 関西SDGsプラットフォーム、G20大阪市民サミット実行委員会、気候ネットワーク

【参加費・資料代】 無料

【解説者の氏名・プロフィール】 上村雄彦氏。横浜市立大学国際総合科学群 教授。国連食糧農業機関 住民参加・環境担当官、奈良大学教養部専任講師、千葉大学大学院人文社会科学研究科准教授などを経て、現職。専門はグローバル政治論、グローバル公共政策論。著書に、『グローバル・タックスの可能性』ミネルヴァ書房等。『グローバル・タックスの構想と射程』法律文化社は、第19回国際開発研究大来賞の最終選考に選出された。

【申込】 岡島(大阪大谷大学)まで事前にメールで参加申込ください。あて先は

okajima_katsuki@yahoo.co.jp

「件名」に「国際開発学会 社会連携委員会セッション参加希望」、

「本文」に①氏名、②所属先を記入してください。